

2017年12月15日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL17-67

神戸市と日本イーライリリー 認知症に対する正しい理解を促す動画を制作

認知症サポーター養成講座で使用する動画
「認知症の人にやさしいまちづくりを目指して」

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン、以下「日本イーライリリー」)は、2017年12月、神戸市の協力のもと、認知症の人・家族の視点から、認知症に対する正しい理解を促す動画『「認知症の人にやさしいまちづくり」を目指して』を制作いたしました。

本動画は、2016年3月に市と日本イーライリリーとの間で締結された「神戸医療産業都市における認知症にやさしいまちづくり推進のための連携と協力に関する協定¹⁾」に基づき、一般市民にも認知症について理解を深めていただくために制作したもので、神戸市や神戸市社会福祉協議会が実施する「認知症サポーター養成講座」内で活用する予定です。

神戸市では、市内に暮らす高齢者のうち、全体の11%にあたる約47,000人が認知症だと診断されています²⁾。本動画では、アルツハイマー型認知症患者の妻を介護している男性と、血管性認知症の父を介護している女性を取り上げ、認知症を疑うようになったきっかけや、診断されたときのこと、また現在の生活について語っていただいています。また、専門医でもある神戸市の認知症対策監から、早期に医療機関で診断を受けることで、早期に医療的、社会的な支援につながる可能性が高まることを伝えています。

日本イーライリリーは、協定¹⁾に基づき、神戸市が推進する「認知症の人にやさしいまちづくり」に、企業市民として貢献してまいります。

動画【「認知症の人にやさしいまちづくり」を目指して】概要(再生時間10分)

- 認知症について
- 専門医の解説
- 認知症の当事者、ご家族へのインタビュー(2 家族)

協力:神戸市 制作:日本イーライリリー株式会社

動画「認知症の人にやさしいまちづくりを目指して」のハイライトシーン



画像左上:家族写真を見ているアルツハイマー型認知症の当事者(左)と介護しているご家族(右)

画像右上:血管性認知症の父親を介護している女性

画像左 :神戸市認知症対策監の前田潔医師

認知症サポーターとは

厚生労働省は認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。認知症サポーター養成講座は、地域や職域団体等で、住民講座、ミニ学習会として開催しています²⁾。神戸市では神戸市社会福祉協議会にて開催しています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>

動画視聴に関するお問い合わせ先

神戸市保健福祉局介護保険課 林・長谷川 電話番号 078-322-5259

- 1) 日本イーライリリー株式会社プレスリリース https://www.lilly.co.jp/pressrelease/2016/news_2016_009.aspx
- 2) 神戸市介護保険認定(平成29年度3月末現在)
- 3) 厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000089508.html>